I-O DATA

はじめにお読みください

DVD-ROM 取扱説明書

DVDP-i8A/US2

株式会社 アイ・オー・データ機器

95507-01

【ご注意】

1) 本製品及び本書は株式会社アイ・オー・データ機器の著作物です。
したがって、本製品及び本書の一部または全部を無断で複製、複写、転載、改変することは法律で禁じられています。
2) 本製品及び本書の内容については、改良のために予告なく変更することがあります。
3) 本製品及び本書の内容について、不審な点やお気づきの点がございましたら、弊社サポートセンターまでご連絡ください。
4) 本製品を運用した結果の他への影響については、上記にかかわらず責任は負いかねますのでご了承ください。
5) 本製品は「外国為替及び外国貿易法」の規定により戦略物資等輸出規制製品に該当する場合があります。
国外に持ち出す際には、日本国政府の輸出許可申請などの手続きが必要になる場合があります。
6) 本サポートソフトウェアの使用にあたっては、バックアップ保有の目的に限り、各1部だけ複写できるものとします。
7) 本サポートソフトウェアに含まれる著作権等の知的財産権は、お客様に移転されません。
8) 本サポートソフトウェアのソースコードについては、如何なる場合もお客様に開示、使用許諾を致しません。また、ソースコードを解明するために本ソフトウェアを解析し、逆アセンブルや、逆コンパイル、またはその他のリバースエンジニアリングを禁止します。
9) 書面による事前承諾を得ずに、本サポートソフトウェアをタイムシェアリング、リース、レンタル、販売、移転、サブライセンスすることを禁止します。
10) 本製品は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など人命に関る設備や機器、及び高度な信頼性を必要とする設備や機器としての使用またはこれらに組み込んでの使用は意図されておりません。これら、設備や機器、制御システムなどに本製品を使用され、本製品の故障により、人身事故、火災事故、社会的な損害などが生じても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。設備や機器、制御システムなどにおいて、冗長設計、火災延焼対策設計、誤動作防止設計など、安全設計に万全を期されるようご注意願います。
11) 本製品は日本国内仕様です。本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切の責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、及びアフターサービス等を行っておりませんので、予めご了承ください。(This product is for use only in Japan. We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.)
12) お客様は、本サポートソフトウェアを一時に1台のパソコンにおいてのみ使用することができます。
13) お客様は、本製品または、その使用権を第三者に対する再使用許諾、譲渡、移転またはその他の処分を行うことはできません。
14) 弊社は、お客様が【ご注意】の諸条件のいずれかに違反されたときは、いつでも本製品のご使用を終了させることができるものとします。

- I-O DATAは、株式会社アイ・オー・データ機器の登録商標です。
- i・CONNECTおよびi・CONNECTロゴは、株式会社アイ・オー・データ機器の商標です。
- Microsoft,Windows,WindowsNTは、米国 Microsoft Corporationの登録商標です。
- その他、一般に会社名、製品名は各社の商標または登録商標です。

必ずお守りください

ここでは、お使いになる方への危害、財産への損害を未然に防ぎ、安全に正しくお使いいただくための注意事項を記載しています。
ご使用の際には、必ず記載事項をお守りください。

This product is for use only in Japan.　We bear no responsibility for any damages or losses arising from use of, or inability to use, this product outside Japan and provide no technical support or after-service for this product outside Japan.

■警告及び注意事項

⚠警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

■絵記号の意味

△

この記号は注意（警告を含む）を促す内容を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「発火注意」を表す絵表示

⃠

この記号は禁止の行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「分解禁止」を表す絵表示

●

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。
例）　「電源プラグを抜く」を表す絵表示

⚠ 警告


厳守

本製品を使用する場合は、ご使用のパソコンや周辺機器のメーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。


電源プラグを抜く

煙が出たり、変な臭いや音がしたら、すぐに使用を中止してください。

電源を切ってコンセントから電源プラグを抜いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。


分解禁止

本製品を修理・改造・分解しないでください。

火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。
修理は弊社修理係にご依頼ください。分解したり、改造した場合、保証期間であっても有償修理となる場合があります。


発火注意

本製品を取り付ける場合は、必ず本書で接続方法をご確認になり、以下のことにご注意ください。

- 接続ケーブルなどの部品は、必ず添付品または指定品をご使用ください。故障や動作不良の原因になります。
- 接続するコネクタやケーブルを間違えると、パソコン本体やケーブルから発煙したり火災の原因になります。


厳守

本製品の取り付け/取り外しの際は、必ず本書で取り付け/取り外し方法をご確認ください。

間違った操作を行うと火災・感電・動作不良の原因となります。


禁止

本体を濡らしたり、お風呂場では使用しないでください。

火災・感電の原因となります。お風呂場、雨天、降雪中、海岸、水辺でのご使用は、特にご注意ください。


禁止

内部のレーザー光線を直視すると視覚障害を起こす恐れがあります。内部をのぞきこまないでください。



厳守

AC アダプタについては以下にご注意ください。

- ●必ず添付のＡＣアダプタを使用してください。
- ●電源コードを加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。
- ●電源コードをＡＣコンセントから抜く場合は、必ずプラグ部分を持って抜いてください。コードを引っ張ると、断線または短絡して、火災および感電の原因となることがあります。
- ●電源コードの電源プラグは、濡れた手でＡＣコンセントに接続したり、抜いたりしないでください。感電の原因となります。
- ●電源コードがＡＣコンセントに接続されているときには濡れた手でパソコン本体に触らないでください。感電の原因となります。
- ●ACアダプタにものを乗せたり、かぶせたりしないでください。
- ●保温、保湿性の高いものの近くで使用しないでください。（じゅうたん、スポンジ、ダンボール、発泡スチロールなど）

⚠ 注意



本製品を使用中にデータなどが消失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。

故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。



本製品は以下のような場所で保管・使用しないでください。

故障の原因になることがあります。

- ●振動や衝撃の加わる場所
- ●直射日光のあたる場所
- ●湿気やホコリが多い場所
- ●温度差の激しい場所
- ●熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒータなど）
- ●強い磁力電波の発生する物の近く
  （磁石、ディスプレイ、スピーカ、ラジオ、無線機など）
- ●水気の多い場所（台所、浴室など）
- ●傾いた場所
- ●腐食性ガス雰囲気中（Cl_2、H_2S、NH_3、SO_2、NO_Xなど）
- ●静電気の影響の強い場所



本製品は精密部品です。以下の注意をしてください。

- ●落としたり、衝撃を加えない
- ●本製品の上に水などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- ●重いものを上にのせない
- ●本製品のそばで飲食・喫煙などをしない



アクセスランプ点灯中に電源を切ったり、パソコンをリセットしないでください。

故障の原因になったり、データが消失するおそれがあります。



本製品（ソフトウェア含む）は、日本国内仕様です。

本製品を日本国外で使用された場合、弊社は一切責任を負いかねます。また、弊社は本製品に関し、日本国外への技術サポート、およびアフターサービスなどを行っておりません。あらかじめ、ご了承ください。

禁止

本体内部に液体、金属、たばこの煙などの異物が入らないようにしてください。

厳守

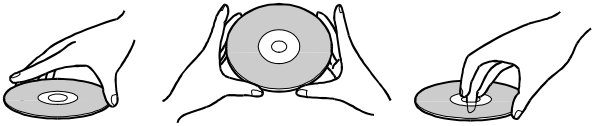
本体についた汚れなどを落とす場合は、柔らかい布で乾拭きしてください。

- ●洗剤で汚れを落とす場合は、必ず中性洗剤を水で薄めてご使用ください。
- ●ベンジン、アルコール、シンナー系の溶剤を含んでいるものは使用しないでください。
- ●市販のクリーニングキットを使用して、本製品のクリーニング作業を行わないでください。故障の原因となります。

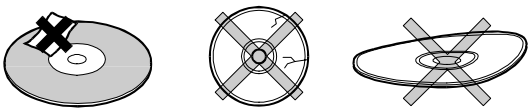
厳守

ディスクの取り扱いについては以下をお守りください。

- ●ディスクを直接持つときは光沢のある場所に触らないようにしてください。両端をはさむようにして持つか、中央の穴と端をはさんでください。



- ●正しい再生をするためと、振動や回転音が大きくなるなどのトラブルを防ぐため、ディスクに紙やシールなどを貼らないでください。
- ●ひびの入ったディスクや反ってしまったディスクは絶対に使用しないでください。また、割れたディスクをテープ類や接着剤で貼りあわせて使用しないでください。高速回転しますので、欠陥のあるディスクは危険です。



- ●ディスクに異物（CD-R ディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、ドライブに挿入してください。異物が付いたまま挿入すると、故障の原因になります。

使用上のご注意

ソフトウェアの「README.TXT」を必ずご覧ください。

●使用する際の注意

ケーブルを抜くときは、ケーブル部分を引っ張らないで、コネクタを持って抜いてください。

●地域コード（リージョンコード）について

本製品は、日本の地域コードである２に設定されています。
ソフトウェアDVDプレーヤーなどで他の地域コードに設定した場合、弊社では保証いたしかねます。あらかじめご了承ください。

●DVDビデオを見る場合は、本製品をUSB 2.0でつないでください。

USB 1.1環境でDVDビデオを再生した場合、コマ落ちが発生して正常に再生できません。詳しくは、7ページのコラムをご覧ください。



【リージョンコード】
DVDビデオの再生可能地域を限定するために決められた地域別コードです。世界を6つの地域に分割し、日本は“２”のリージョンコードが割り当てられています。DVD-ROMドライブ、DVDビデオディスク、DVD再生ソフトのリージョンコードが一致しないと再生できない仕様になっています。

はじめに

このたびは、本製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
ご使用の前に本書をよくお読みいただき、正しいお取り扱いをお願いいたします。

本製品はUSB接続のDVD-ROMドライブです。
本製品を使えば、CD-ROMはもちろん、DVD-ROMのデータも読み込むことができます。
また、添付の「PowerDVD VR-X」を使用すればDVDビデオを見ることもできます。



【USB】
パソコンと周辺機器を接続する規格の１つです。接続のしやすさ、増設のしやすさなどの特徴があります。以下の2つのバージョンがあります。

【転送速度】

USB 1.1 ： 12Mbps（理論値）
USB 2.0 ：480Mbps（理論値）

USB 2.0では、既存のUSB 1.1機器をそのまま接続できます。

● 呼び方

本製品	DVD-ROMドライブを含む添付品すべての総称
ディスク	DVD-ROMディスク、CD-ROMディスクの総称
Windows Me	Microsoft® Windows® Millennium Edition
Windows 98	Microsoft® Windows® 98 Operating Systemおよび Microsoft® Windows® 98 Operating System Second Editionの総称
Windows Me/98	Windows MeおよびWindows 98の総称
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional
Windows	Windows Me/98およびWindows 2000の総称

● 使用しているアイコン

	《注意》 注意してほしい事項を記述しています。必ずお守りください。
	《コラム》 用語解説や本製品を使う上で役に立つ情報を記述しています。
	《参照》 参照先のページを表記しています。

もくじ

必ずお守りください・・・・・・・・・・・・・・・・・・ i
はじめに・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ vii
もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ix
DVD-ROMドライブを使うまで ・・・・・・・・・・・・ xi

使う前に・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1

箱の中の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
各部のなまえ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
動作環境の確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

使う準備をする・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

１．インストール・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１０
２．つなぐ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１２
３．確認 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・１４
４．基本操作をおぼえる・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２０

使ってみよう・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２７

DVDビデオを見る・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・２８

付録 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ２９

CD-ROMでインストールできない・・・・・・・・・・・・・・・・３０
インストールしたドライバの削除・・・・・・・・・・・・・・３５
困った時には・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・３７
仕様 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・４８

お問い合わせ先 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０

PowerDVD VR-X ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５０
DVD-ROMドライブ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５１
サポートソフトのバージョンアップ・・・・・・・・・ ５２
修理について・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ ５３

コラム

コラムのもくじ

リージョンコード ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・

DVD-ROMドライブを使うまで

DVD-ROMドライブが使えるようになるまでの手順を説明します。

DVD-ROMドライブを使うまでの手順

以下の流れにしたがって、DVD-ROMドライブを使う環境をつくりましょう。
“☺”を読めば本製品を使うことができます。

使う前に

はじめにすること
内容物の確認
各部の機能の確認
動作環境の確認

1ページ

▼

☺ **使う準備をする**

DVD-ROMドライブを使えるようにする
1．インストール
2．つなぐ
3．確認
4．基本操作をおぼえる

9ページ

▼

☺ **使ってみよう**

用途に応じてソフトウェアをインストールする
・PowerDVD VR-X

27ページ

使う前に

ここでは、本製品を使う前の作業について、順を追って説明しています。

箱の中の確認

内容物リストです。

☞ 2ページ

▼

各部のなまえ

各部のなまえを確認します。

☞ 4ページ

▼

動作環境の確認

本製品を使うときに必要なパソコンの種類です。

☞ 6ページ

箱の中の確認

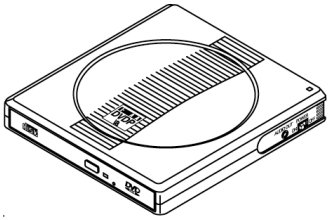
ご使用の前に以下のものがそろっていることを □ にチェックをつけながら
ご確認ください。
万一、不足品がありましたら、弊社サポートセンターまでお知らせください。

注意

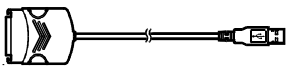
・箱・梱包材は大切に保管し、修理などの輸送の際にご利用ください。
・イラストは若干異なる場合があります。

●内容物

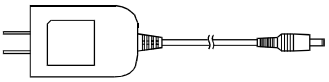
□ DVD-ROMドライブ（1台）



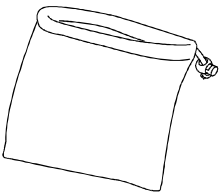
□ USB 2.0コンバータケーブル
（1本：約100cm）



□ ACアダプタ（1個）



□ ソフトキャリーケース
（1つ）



●添付ソフトウェア

☐ **DVDビデオスターターキット**
（CD-ROM：1枚）



▼内容

- **USB 2.0CCサポートソフト**
  （添付のUSB 2.0コンバータケーブルを
  USB 1.1で使用するためのドライバ）
- **DVDビデオ再生ソフトウェア**
  「PowerDVD VR-X」

●その他

- ☑ DVD-ROM取扱説明書（本書）
- ☐ PowerDVD VR-Xクイックガイド
- ☐ クイックリファレンス「DVDで映画を観よう」
- ☐ ハードウェア保証書（1枚）
- ☐ ユーザー登録カード（1枚）
- ☐ ハードウェアシリアルNo.シール（1枚）

※「ハードウェア保証書」と「ユーザー登録カード」に貼ってください。

コラム

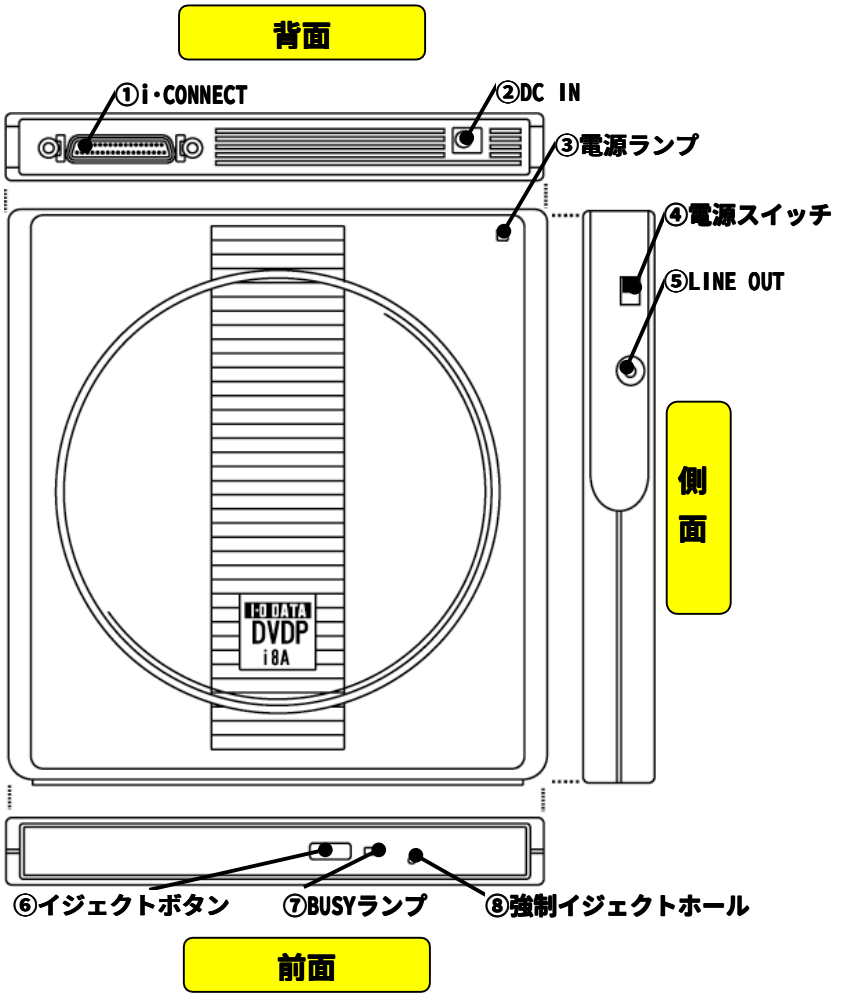
ドライバ
パソコンの周辺機器を制御するソフトウェアのことです。
本製品では、「DVDビデオスターターキット」CD-ROM内にあります。

ユーザー登録は済みましたか？
「ユーザー登録カード」に登録方法が記述されています。
ユーザー登録してから、次ページへ進みましょう！

各部のなまえ

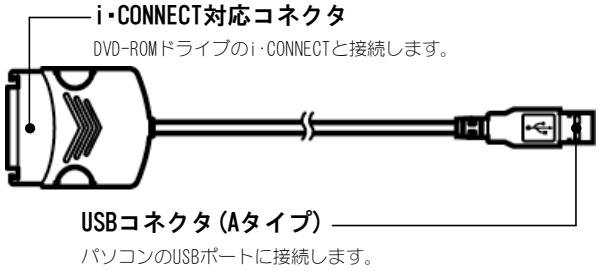
各部の名称および機能の確認を行います。

●DVD-ROMドライブ



名称	説明
①i･CONNECT	添付のUSB 2.0コンバータケーブルと接続します。
②DC IN	添付のACアダプタで家庭用コンセントに接続します。
③電源ランプ	本製品の④電源スイッチON時、緑色に点灯します。 電源OFF時は消灯します。
④電源スイッチ	本製品の電源をON(左)/OFF(右)します。
⑤LINE OUT	市販のオーディオケーブルでパソコン本体のLINE INに接続するか、アンプ付きスピーカーに接続します。
⑥イジェクトボタン	トレイを出します。
⑦BUSYランプ	ディスクにアクセス時に点滅します。
⑧強制イジェクトホール	イジェクトボタンを押してもトレイが出てこなくなった時に使用します。 【付録 困ったときには】 42ページ

●USB 2.0コンバータケーブル



注意

本製品に添付の「USB 2.0コンバータケーブル」は、本製品のDVD-ROMドライブのみお使いいただけます。他のi･CONNECT搭載ドライブに、添付のUSB 2.0コンバータケーブルを接続しての使用は保証いたしかねます。

動作環境の確認

本製品をお使いになるためには、お使いのパソコンが以下の機種やOSである必要があります。対応していることをご確認ください。

●対応機種・OS

CPU Pentium 100MHz以上で、USBポートを装備した以下の機種です。
（弊社製USBインターフェイス製品を搭載した機種も含む）
また、インストール時に別途CD-ROMドライブが必要となります。

対応機種	対応OS（日本語版に限る）
NEC PC98-NXシリーズ **DOS/Vマシン ※1※2** **弊社では、OADG加盟メーカーのDOS/Vマシンで動作確認を行っております。**	Windows Me※3 Windows 98 Second Edition※3 Windows 98(ServicePack 1以降)※3 ※4 Windows 2000※3

※1 USB 1.1環境では、以下の機種を除く。
IBM製 Aptiva E21/31/17/27/47シリーズ、
東芝製 Dynabook SS PORTEGE6000、Satellite2520シリーズ、
SOTEC製 e-note M260TX2/TX3

※2 USB 1.1環境のCOMPAQ製 PRESARIO 3566/3567/3576/3581/3590では、パソコンBIOSのアップデートが必要です。詳しくはコンパック プレサリオ サポートセンターまでお問い合わせください。

※3 本製品のUSB 2.0での動作は、弊社製USB 2.0インターフェイス製品において確認を行っております。動作確認情報は、各インターフェイス製品メーカーにお問い合わせください。

※4 Windows Updateにて「Windows 98 System Update」を行うか、Service Pack 1によるUpdateを行ってください。



インストール

ソフトウェアをパソコンにコピーして、使える状態にすることです。

本製品のUSB 1.1での動作について

USB 1.1の環境では仕様により、DVDビデオの再生はできません。（再生時にコマ落ちが発生します。本書に表記している読み込み速度は、本製品のDVD-ROMドライブが持つ最大性能です。）

USB 2.0の環境が無い場合

別売の弊社製USB 2.0インターフェイス製品を使用すると、USB 2.0動作が可能となり、快適にDVDビデオが再生できます。
また、別売の弊社製i・CONNECTオプション「1394-iCN」または「CI-iCN」(CardBusモード)を使用しても、快適にDVDビデオが再生できます。
最新情報は、弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）でご確認ください。

●PowerDVD VR-Xの動作環境

別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。



- **USB 1.1で接続する場合、DVDビデオの再生はできません。（コマ落ちが発生するため）**
- **「PowerDVD VR-X」はサービス品です。弊社ではサポート致しかねます。**
  「PowerDVD VR-X」のお問い合わせは50ページをご覧ください。

● 対応ディスク

以下のディスクの読み込み（リード）のみ可能です。

ディスク	備考
DVD-RAM※1※2	片面（Single Sided TypeⅡ）2.6Gバイト、4.7Gバイト
DVD-ROM	—
DVD-R	3.95Gバイト、4.7Gバイト
DVD-RW※2	Ver1.0、1.1
DVDビデオ	添付の「PowerDVD VR-X」をお使いください。
CD-ROM	—
CD-R	—
CD-RW	—
ビデオCD CD-DA（音楽CD）	添付の「PowerDVD VR-X」をお使いください。
Photo CD	対応したソフトウェアが別途必要です。
CD TEXT	—
CD Extra	—

※1 対応OSは、Windows Me、Windows 98（Second Edition含む）、Windows 2000です。
※2 UDF1.02、1.5フォーマットされたディスクのみ読み込み可能です。
ただし、UDF2.0でフォーマットされたディスクは、VideoRecording形式のみPowerDVD VR-Xで再生可能です。（データは読めません。FAT、FAT32でフォーマットされたディスクは読めません。）

使う準備をする

本製品を使えるようにするには、以下の作業が必要になります。手順にしたがって準備しましょう。

1．インストール

USB 2.0コンバータケーブルをお使いのパソコンで使えるようにするための作業をしてください。

10ページ

▼

2．つなぐ

DVD-ROMドライブをパソコンにつないでください。

12ページ

▼

3．確認

本製品が正常に使えるかを確認します。

14ページ

▼

4．基本操作をおぼえる

次回からのつなぎ方/外し方、ディスクの入れ方/出し方をおぼえてください。

20ページ

１．インストール

お使いのパソコンで本製品を使えるようにするために、ソフトウェア（ドライバ）をインストールします。

注意

■はじめて本製品を使用する場合は、DVD-ROMドライブを接続する前に、USB 2.0コンバータケーブルのドライバをインストールする必要があります。
ドライバのインストール終了後、本製品をパソコンに接続できます。
ここでは、まだUSB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに挿入しないでください。

■インストールを行う前に、起動しているプログラムをすべて終了してください。

■すべてのUSB機器（マウス、キーボードを除く）を取り外してください。

■本製品をUSB 2.0で動作させるには、弊社製USB 2.0インターフェイスに接続する必要があります。

インストールするには、本製品以外のCD-ROMドライブが必要です。

本製品以外のCD-ROMドライブが無い！ 30ページ

1 **Windowsを起動します。**

Windows 2000の場合は、Administrator権限でログインします。

2 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを挿入します。**

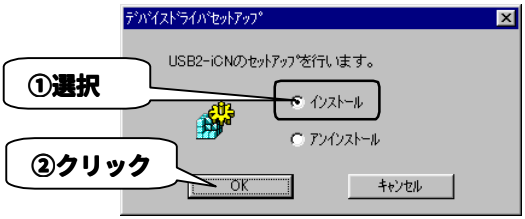
3 **自動で画面が表示されますので、[USB2.0CCサポートソフト]をクリックします。**

自動で表示されない場合は、[マイコンピュータ]から、CD-ROMアイコンを開き、「Autorun」をダブルクリックしてください。



4 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

このあと自動でインストールされます。

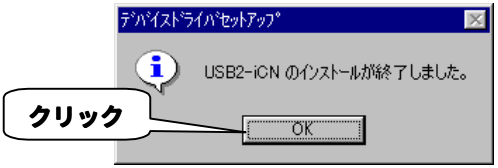


注意

このような画面が表示されたときは、【困った時には】内38ページをご覧ください。



5 **[OK]ボタンをクリックします。**



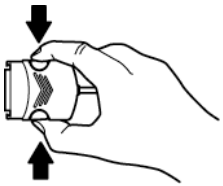
次ページへお進みください。

2．つなぐ

本製品をパソコンにつなぎます。

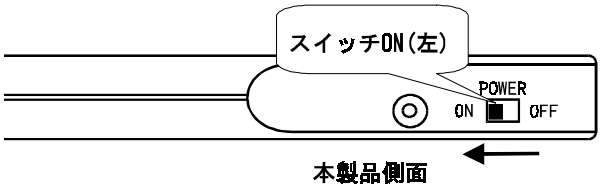
1　USB 2.0コンバータケーブルをDVD-ROMドライブに接続します。

右の図のように、両サイドを押しながらCD-RWドライブにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことをご確認ください。



2　DVD-ROMドライブの電源を入れます。

①DVD-ROMドライブにACアダプタを接続し、コンセントに接続します。
②本製品の電源をONにします。



注意

■必ずDVD-ROMドライブの電源をONにしてから、パソコンに接続してください。
DVD-ROMドライブの電源をONにせずにパソコンに接続してしまった場合は、以下の手順にしたがってください。
①パソコンからUSB 2.0コンバータケーブルを抜きます。
②DVD-ROMドライブの電源をONにします。
③再度、USB 2.0コンバータケーブルをパソコンに接続します。

3 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続します。

USBポートにまっすぐに差し込みます。

→「新しいハードウェア」画面が表示され、しばらくすると画面は消えます。

注意

■「新しいハードウェア」画面が表示されたまま消えない！

[キャンセル]ボタンをクリックし、USB 2.0コンバータケーブルをパソコンから取り外します。その後、再度インストールしてください。

コラム

【本製品で音楽CDを聞く方法】

・デジタルオーディオ機能を使用します。（デジタル再生）

詳しくは、44ページのコラムをご覧ください。

・ヘッドホンやスピーカーなどを接続します。（アナログ再生）

環境に応じて接続してください。

① 本製品側面のLINE OUT端子をサウンドボード（CD IN）やパソコン本体のオーディオコネクタまたはステレオアンプに接続します。

② パソコンに装着したサウンドボードから再生する場合は、本製品側面のLINE OUT端子と、サウンドボードのCD IN(またはLINE IN)を市販のオーディオケーブルで接続してください。

※ヘッドホン、スピーカー、オーディオケーブルは本製品には付属しておりません。別途、お買い求めください。

3．確認

本製品が正常に使えるかを確認します。確認方法はOSにより異なります。お使いのOSにあったページのみご覧ください。

Windows Me/98で確認 → 本ページ
Windows 2000で確認 → 17ページ

注意

USB 2.0インターフェイスに接続した場合は、各取扱説明書をご覧になるか、各メーカーにお問い合わせください。

●Windows Me/98で確認

1 「システムのプロパティ」を開きます。

［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

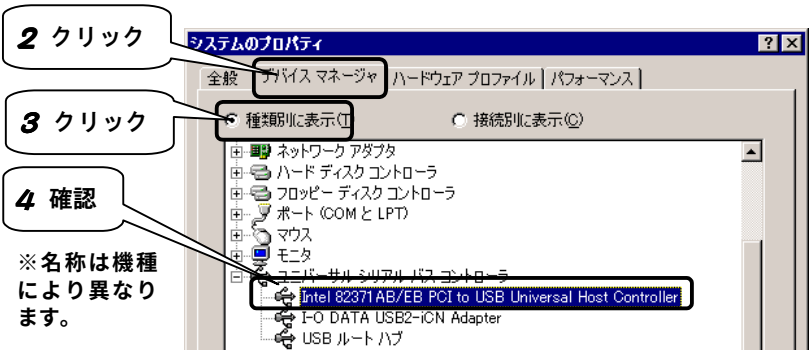
2 ［デバイスマネージャ］タブをクリックします。

3 ［種類別に表示］を選択します。

4 USBコントローラの名前を確認します。

［ユニバーサルシリアルバスコントローラ］の下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

※通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。



注意

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

5 ［接続別に表示］を選択します。

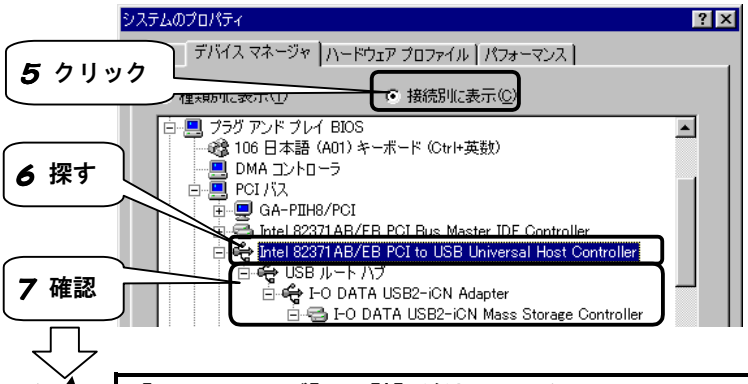
6 USBコントローラの名前を探します。

手順4で確認したUSBコントローラを探します。

※通常、USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。［PCIバス］は、［Advanced Configuration and Power Interface (ACPI) BIOS］または［プラグアンドプレイBIOS］の下にあります。

7 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



注意

［USBルートハブ］に［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。
［I-O DATA USB2-iCN Adapter］、または［I-O DATA USB2-iCN Mass Storage Controller］に［!］が付いている
【ドライバの削除】(35ページ)の手順を行った後、もう一度、【インストール】(10ページ)の手順を行ってください。
［I-O DATA USB2-iCN Mass Storage Controller］の下に何もない
【つなぐ】(12ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

8 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

9 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。

②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMのアイコンが増えている
ことを確認します。



注意

アイコンが表示されない！
[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。

確認後、20ページへお進みください。

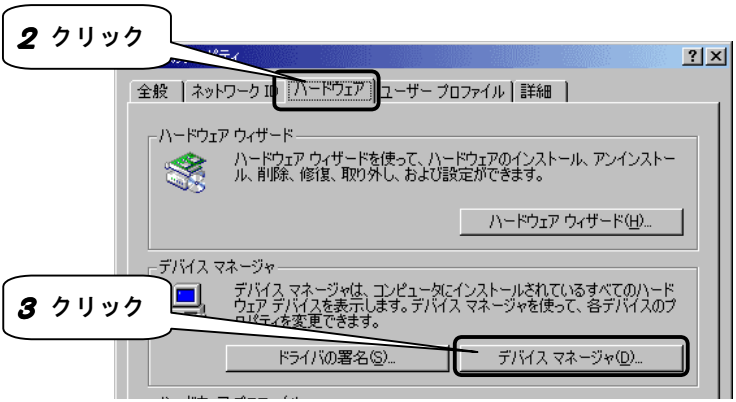
●Windows 2000で確認

1 「システムのプロパティ」を開きます。

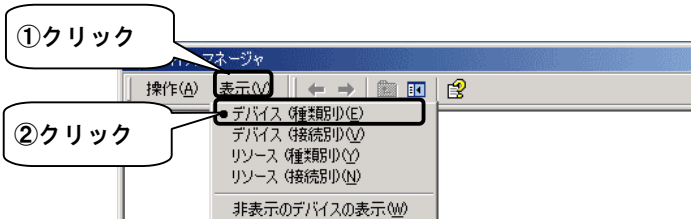
［マイコンピュータ］アイコンを右クリックし、表示された［プロパティ］をクリックします。

2 ［ハードウェア］タブをクリックします。

3 ［デバイスマネージャ］ボタンをクリックします。



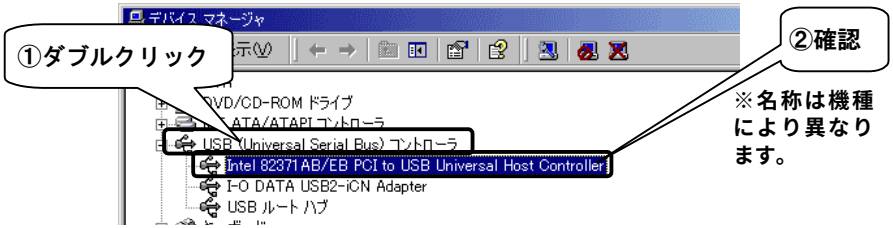
4 ［表示］→［デバイス（種類別）］を選択します。



5 USBコントローラの名前を確認します。

①［USB(Universal Serial Bus)コントローラ］をダブルクリックします。
②その下にあるUSBコントローラの名前を確認します。

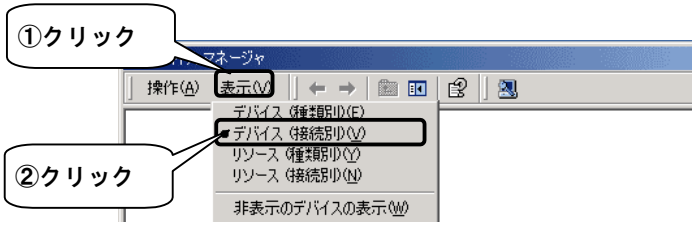
※通常USBコントローラーの名前は、「～USB～Controller」となっています。



注意

USBコントローラに［!］が付いている
パソコンまたはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。

6 ［表示］→［デバイス(接続別)］を選択します。



7 USBコントローラの名前を探します。

手順**5**で確認したUSBコントローラを探します。

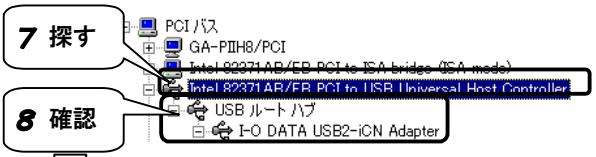
※通常USBコントローラは、［PCIバス］の下にあります。

［PCIバス］は、［ACPI(Advanced Configuration and Power Interface) BIOS］または［標準PC］の下にあります。

【画面例】 次ページ

8 USBコントローラの下を確認します。

USBコントローラの下にあるドライバを確認します。



注意

［USBルートハブ］に［!］が付いている
パソコンもしくはUSBインターフェイスの取扱説明書をご覧になり、正常に動作するようにしてください。
［I-O DATA USB2-iCN Adapter］に［!］が付いている
【ドライバの削除】(35ページ)の手順を行った後、もう一度【インストール】(10ページ)の手順を行ってください。
［I-O DATA USB2-iCN Adapter］の下に何もない
【つなぐ】(12ページ)をご覧になり、接続と電源を確認してください。

9 「デバイスマネージャ」を閉じます。

画面右上にある ✕ をクリックします。

10 本製品のアイコンを確認します。

①［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
②［マイコンピュータ］の中にCD-ROMアイコンが増えていることを確認します。



注意

アイコンが表示されない！
[表示]メニューの[最新の情報に更新]をクリックしてください。

確認後、次ページへお進みください。

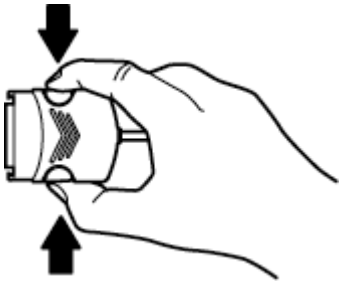
４．基本操作をおぼえる

次回からの「つなぎ方」「外し方」をおぼえてください。

つなぎ方

1　USB 2.0コンバータケーブルをDVD-ROMドライブに接続します。

以下の図のように両サイドを押しながらDVD-ROMドライブのi･CONNECTにまっすぐに差し込み、軽く引っ張って抜けないことをご確認ください。



2　DVD-ROMドライブの電源を入れます。

①DVD-ROMドライブにACアダプタを接続し、コンセントに接続します。
②本製品の電源をON（-）にします。

3　USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続します。

USBポートにまっすぐに差し込みます。

注意

- **USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続したままDVD-ROMドライブの電源をON/OFFしないでください。**
- **DVD-ROMドライブの電源がOFFのままパソコンに接続してしまった場合は、いったんUSB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外し、DVD-ROMドライブの電源をONにしてから、再度接続してください。**
- **Windows 2000でお使いの場合**
  USB 2.0コンバータケーブルを抜き、再度つなぐ場合は、Windowsを再起動してからつないでください。Windows起動後に抜き差ししないでください。

外し方

外し方には2通りあります。

●パソコンの電源を切って取り外す

1 DVD-ROMドライブからディスクを取り出します。



USBポートからUSB 2.0コンバータケーブルを抜く前に、必ずディスクを取り出してください。
ディスクを挿入しているときや読み込み中に抜いた場合、システムが不安定になったり、ディスクのデータが破損する場合があります。

2 パソコンの電源を切ります。

3 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから抜きます。

4 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

5 DVD-ROMドライブからUSB 2.0コンバータケーブルとACアダプタを外します。

●パソコンの電源を切らずに取り外す

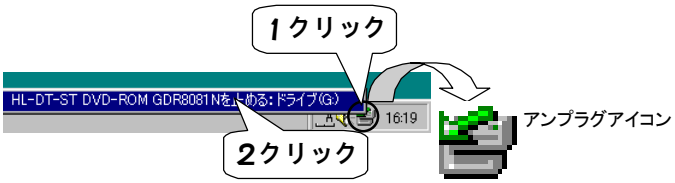
注意

- 以下の終了手順を行わずにUSB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから取り外すと、予期しない障害が発生する可能性があります。
- 弊社製USB 2.0インターフェイスでお使いの場合は、各取扱説明書をご覧ください。

Windows Me/98の場合

1 タスクトレイの［アンプラグ］アイコンをクリックします。

2 表示された［･････を止める］をクリックします。



3 ［OK］ボタンをクリックします。



注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合
①使用中のソフトウェアをすべて終了します。
②もう一度、手順1からやり直してください。
これで同じメッセージが表示された場合は、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

4 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外します。

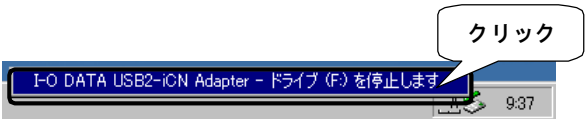
5 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

Windows 2000の場合

1 タスクトレイのリムーバブルツールをクリックします。



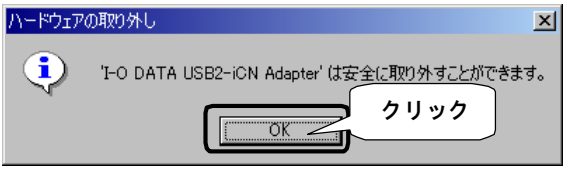
2 表示された［‥‥を停止します］をクリックします。



注意

「取り外しができない」という内容のメッセージが表示された場合
①使用中のソフトウェアをすべて終了します。
②もう一度、手順 **1** からやり直してください。
これで同じメッセージが表示された場合は、【パソコンの電源を切って取り外す】の手順を行ってください。

3 ［OK］ボタンをクリックします。



4 USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートから外します。

5 DVD-ROMドライブの電源を切ります。

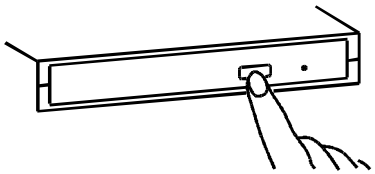
ディスクの入れ方/出し方

注意

- **ディスクの出し入れを行うときは、本製品の電源をONにしてください。**
- **ディスクに異物（CD-Rディスクの仕切りなど）が付いていないことを十分ご確認の上、入れてください。異物が付いたままだと、故障の原因となります。**
- **ディスクの記録面には触れないでください。**
- **ディスクは確実にセットしてください。確実にセットしないと、ディスクが外れ傷つく恐れがあります。**
- **トレイを無理に引き出したり、押し込んだりしないでください。DVD-ROMドライブのローディング部が破損する恐れがあります。**
- **12cmディスクを使うときは大きい円形のくぼみに、8cmディスクを使うときは小さい円形のくぼみに乗せてください。両ディスクを同時にトレイに乗せないでください。**
- **DVD-ROMドライブが傾いていないことを確認してからディスクを取り出してください。（DVD-ROMドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクが内部に落下する恐れがあります。）**

1 イジェクトボタンを押すとトレイが２cm程出てきますので、ゆっくりとトレイを引き出します。

無理に引き出すとドライブを損傷させるおそれがあります。トレイの引き出しは慎重に行ってください。

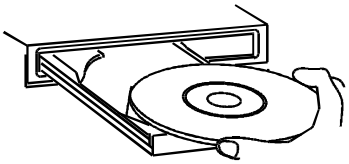


トレイが出てこない → 【困った時には】（42ページ）をご覧ください。

2

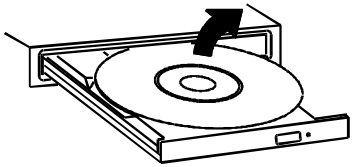
≪ディスクを入れる≫

ラベル面を上にしてディスクをセットします。両面タイプの場合は再生する面を下にセットします。トレイ中心の軸に、”カチッ”と音がするまではめ込みます。



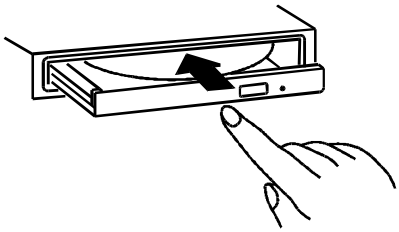
≪ディスクを出す≫

ディスクの回転が完全に止まっていることを確認してからディスクを取り出します。



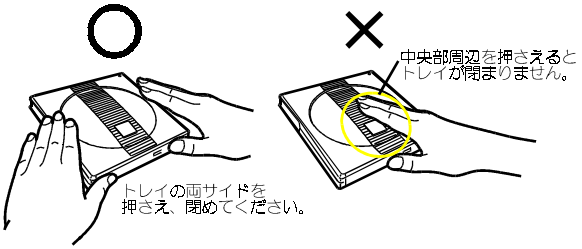
3 トレイを元に戻します。

イジェクトボタンに触れないように「カチッ」と音がするまでトレイ前面を押します。



注意

トレイを閉める際は、○のように両サイドを押さえながら閉じてください。
×のように中央部周辺（特に帯状の部分）に力を加えるとトレイが閉まりません。



MEMO

使ってみよう

ここでは、添付のDVDビデオを見るためのソフトウェア「PowerDVD VR-X」の紹介をしています。
詳しくは、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。

DVDビデオを見る

「PowerDVD VR-X」を使ってみましょう。

28ページ

DVDビデオを見る

DVDビデオを見るには、添付の「PowerDVD VR-X」などのDVDデコーダが必要です。
インストール方法や使用方法については、別冊の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧ください。



《PowerDVD VR-Xを使用する際のご注意》

- **本製品のリージョンコードは、出荷時状態で“２”に設定されています。**
  リージョンコードを変更した場合は、保証致しかねます。
- **本製品添付のPowerDVD VR-Xはドルビーヘッドホンに対応しておりません。**

『PowerDVD VR-X』に関するお問い合わせは…

サイバーリンク㈱までお問い合わせください。

50ページ

付録

必要に応じてお読みください。

CD-ROMでインストールできない

本製品以外のCD-ROMドライブが無いため、添付CD-ROMでインストールできない場合にご覧ください。

30ページ

インストールしたドライバの削除

インストールしたドライバを削除します。

35ページ

困った時には

トラブルが起こったときにご覧ください。

37ページ

仕様

本製品の仕様です。

48ページ

CD-ROMでインストールできない

ここでは、本製品添付のCD-ROMを使用せずにインストールする方法を紹介します。
お使いのパソコンに本製品以外のCD-ROMが付いていない場合にご覧ください。

本製品のドライバが入ったフロッピーディスクを作成して、そのフロッピーディスクを使用することで、インストールすることができます。
空きフロッピーディスクは「3.5インチ2HD：1.44MB」をご用意ください。

「インストール用フロッピーディスク」を作成するには、以下の2つの方法があります。環境に合った方を選択してください。

ご確認ください。

選択

ご使用のパソコンで、インターネットに接続できる	CD-ROMドライブとフロッピーディスクドライブが付いたパソコンがもう1台ある
次ページ	33ページ
ダウンロードする	**他のパソコンを使う**

ダウンロードする

1 ハードディスクドライブ（Windowsがインストールされているドライブ）に、任意のフォルダを新規作成します。

≪フォルダ作成例≫

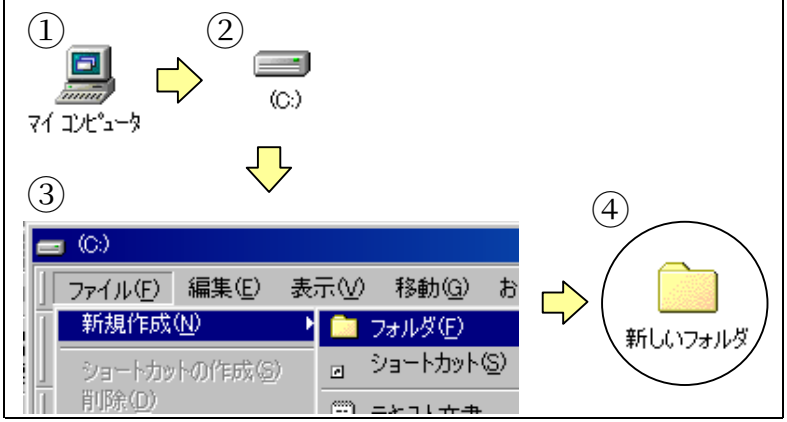
Cドライブに「新しいフォルダ」という名前のフォルダを作成します。

①[マイコンピュータ]をダブルクリックします。

②[（C:）]をダブルクリックします。

③メニューから、[ファイル]→[新規作成]→[フォルダ]をクリックします。

④[新しいフォルダ]という名前のフォルダが追加されていることを確認します。



2 弊社ホームページ（http://www.iodata.co.jp/）より、「USB 2.0CC サポートソフト」ファイルを入手します。

LHA形式（[ファイル種別]：「SFXイメージデータ」）のファイルを *1* で作成したフォルダにダウンロードしてください。

3 入手したファイルを、手順 *2* で作成したフォルダで展開します。

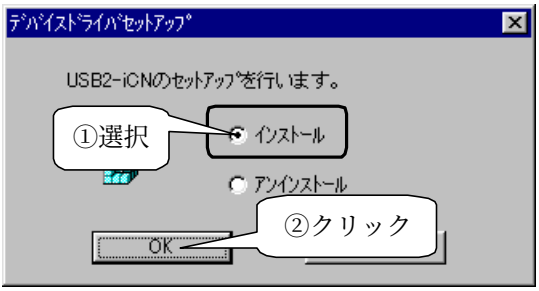
展開方法は、ホームページ上の説明ファイルをお読みください。

4 **展開したファイルの「DISK.EXE」をダブルクリックします。**
画面の指示にしたがって「インストール用フロッピーディスク」を作成してください。

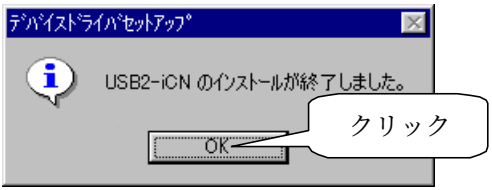
5 **作成したフロッピーディスクを、本製品を使用するパソコンに挿入します。**

6 **[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[Ddsetup]をダブルクリックします。**

7 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**
このあと自動でインストールされます。



8 **[OK]ボタンをクリックします。**



このあと、【2．つなぐ】（12ページ）へお進みください。
作成した「インストール用フロッピーディスク」は大切に保管してください。

他のパソコンを使う

1 **空きフロッピーディスクを、CD-ROMドライブが付いたパソコンのフロッピーディスクドライブに入れます。**

2 **CD-ROMドライブが付いているパソコンに「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを入れます。**

3 **CD-ROM内の「USB2CC」フォルダをフロッピーディスクにコピーします。**

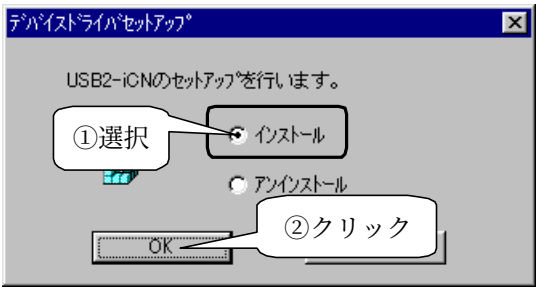
≪コピー方法≫
CD-ROMの「USB2CC」フォルダを空きのフロッピーディスクにコピーします。
①[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
②CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして表示されるメニューから[開く]をクリックしてください。
③「USB2CC」フォルダをクリックします。
④メニューから[編集]→[コピー]をクリックします。
⑤[マイコンピュータ]をダブルクリックします。
⑥[3.5 インチ FD]をダブルクリックします。
⑦メニューから[編集]→[貼り付け]をクリックします。
以上でコピーできました。

4 **作成したフロッピーディスクを、本製品を使用するパソコンに挿入します。**

5 **[マイコンピュータ]→[3.5インチFD]→[USB2CC]→[Ddsetup]をダブルクリックします。**

6 **[インストール]を選択し、[OK]ボタンをクリックします。**

このあと自動でインストールされます。



7 **[OK]ボタンをクリックします。**



このあと、【２．つなぐ】（12ページ）へお進みください。

作成した「インストール用フロッピーディスク」は大切に保管してください。

インストールしたドライバの削除

本製品を再びインストールする場合は、インストールされた情報を削除（アンインストール）する必要があります。

1 **パソコンの電源を切り、USB 2.0コンバータケーブルを取り外します。**

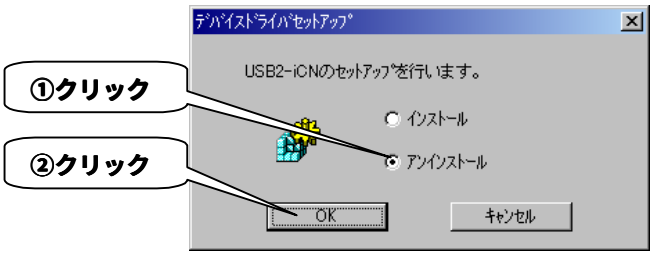
2 **パソコンの電源を入れます。**

3 **「DVDビデオスターターキット」CD-ROMを挿入します。**
「インストール用フロッピーディスク」でインストールした場合は、作成した「インストール用フロッピーディスク」をセットし、フロッピーディスク内の「ddsetup」をダブルクリックしてください。
その後、手順**5**へお進みください。

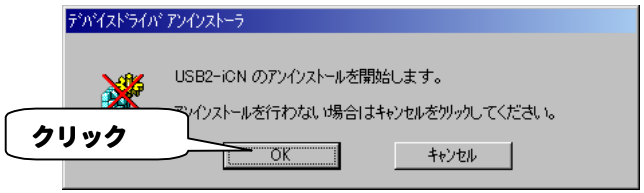
4 **自動で画面が表示されますので、[USB 2.0CCサポートソフト]ボタンをクリックします。**
自動で表示されない場合は、CD-ROMの「Autorun」をダブルクリックしてください。



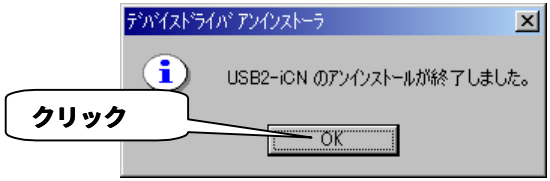
5 「アンインストール」を選択し、[OK]ボタンをクリックします。



6 [OK] ボタンをクリックします。



7 [OK] ボタンをクリックします。



8 挿入したディスクを抜きます。

9 [はい] ボタンをクリックします。



以上でドライバの削除は終了です。

困った時には

本製品を使用していて異常があった場合にご覧ください。

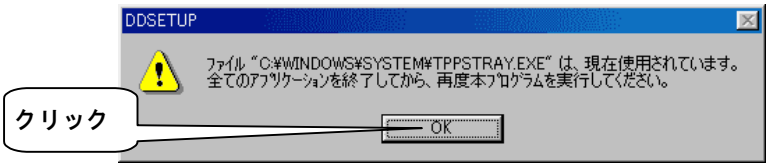
状態	参照ページ
インストール中や削除中にエラーが表示される	38
パソコンにCD-ROMドライブがないため、インストールできない	40
USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続しても認識しない	40
ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない	41
ディスクを挿入しても反応がない	41
DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯しない	41
ディスクが取り出せない	42
DVD-ROMドライブのランプ（BUSYランプ）が点灯しない	43
音が聞こえない	43
DVDビデオが再生できない	47
ヘッドホンからDVDビデオの音が聞こえない	47
DVDビデオ再生時にコマ落ちする	47

インストール中や削除中にエラーが表示される

原因	USB機器を接続している。
対処	USB機器を接続したままで、USB 2.0コンバータケーブルのインストールや削除はできません。下記の手順を行ってください。

1 [OK]ボタンをクリックします。

⇒エラー画面が閉じます。



USB接続のCD-ROMドライブやフロッピーディスクドライブをお使いの場合

この方法では、作業できません。
次ページをご覧ください。

2 パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。

本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

3 もう一度、作業を行います

インストール中の場合は【インストール】(10ページ)の、
削除中の場合は【インストールしたドライバの削除】(35ページ)の
手順を行ってください。

ハードディスクにコピーしてインストールする

USB接続のCD-ROMをお使いの場合は、CD-ROM内の内容をハードディスクにコピーしてからインストールしてください。

①添付CD-ROMをセットします。

②デスクトップに［新しいフォルダ］フォルダを作ります。
デスクトップ上でを右クリックし、［新規作成］→［フォルダ］の順にクリックします。⇒［新しいフォルダ］フォルダを作成します。

③データを［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。
①でセットしたディスク内の［USB2CC］フォルダを、［新しいフォルダ］フォルダにコピーします。

≪コピー例≫
1)［マイコンピュータ］アイコンをダブルクリックします。
2)CD-ROMアイコンをダブルクリックします。
3)［USB2CC］フォルダをクリックします。
※CD-ROMの内容が表示されない場合は、CD-ROMアイコンを右クリックして、表示されるメニューから[開く]をクリックしてください。
4)メニューから［編集］→［コピー］をクリックします。
5)［新しいフォルダ］フォルダをダブルクリックします。
6)メニューから［編集］→［貼り付け］をクリックします。
⇒［USB2CC］フォルダがコピーされます。

④①でセットしたディスクを取り出します。

⑤パソコンに接続している全てのUSB機器を取り外します。
本製品を含む全てのUSB機器（キーボード、マウスを除く）を取り外します。

⑥［DDSETUP］アイコンをダブルクリックします。
［新しいフォルダ］→［USB2CC］→［DDSETUP］の順にダブルクリックします。この後、エラー画面が表示された手順に戻り、作業を続けてください。

パソコンにCD-ROMドライブがないため、インストールできない

対処１	インターネットの弊社ホームページから、ダウンロードしてください。（☞ 31ページ）
対処２	他のCD-ROMがあるパソコンで、添付CD-ROMからフロッピーディスクにコピーし、そのフロッピーディスクを使用してください。（☞ 33ページ）

USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続しても認識しない

原因１	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、USB 2.0コンバータケーブルをUSBポートに接続してください。

原因２	USBポートによっては認識しない場合があります。
対処１	接続するポートを変えてください。
対処２	USBハブ接続している場合は、USBハブに接続せずに、パソコン本体のUSBポートに接続してください。

原因３	インストールが正しく行われていない。
対処	【３．確認】（☞ 14ページ）をご覧ください。

ディスクを読んでいると他のUSB機器が認識されない

原因	USB2.0コンバータケーブルがバスを占有している。
対処	この場合、すぐには認識されません。本製品の占有が終わってから、他のUSB機器をUSBポートに接続してください。

ディスクを挿入しても反応がない

原因	他のUSB機器にバスを占有されている。 （弊社製USB-CCDでキャプチャしているなど）
対処	この場合、すぐには認識されません。他のUSB機器の占有が終わってから、ディスクを使用することができます。

DVD-ROMドライブの電源ランプが点灯しない

原因1	DVD-ROMドライブの電源スイッチがONになっていない場合があります。
対処	DVD-ROMドライブの電源スイッチをONにしてください。

原因2	電源コード(ACアダプタ)が接続されていない場合があります。
対処	電源コード(ACアダプタ)がコンセントに確実に接続されていることを確認してください。

原因3	DVD-ROMドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。（☞ 53ページ）

ディスクが取り出せない

原因1	使用中のアプリケーションでイジェクトを禁止している場合があります。
対処	使用中のアプリケーションを終了後にイジェクトボタンを押してください。

原因2	トレイに何かが引っ掛かっている場合があります。
対処	以下を参照し、取り出してください。 **・以下の操作は、あくまで緊急のための操作です。むやみにご使用になると故障の原因となります。** **・以下の操作は、DVD-ROMドライブおよびパソコン本体の電源をOFFにした状態で行ってください。** **・DVD-ROMドライブが傾いていないことを確認してから、ディスクを取り出してください。（DVD-ROMドライブが傾いた状態で取り出しを行うと、途中でディスクがDVD-ROMドライブ内に落下する恐れがあります。）** **・以下の方法で取り出せなかった場合は、無理に引き出さず弊社修理係にご依頼ください。** 必要なもの…太さ1.3㎜程度、長さ55㎜以上（指で持つ部分を除く）の針金1本。大きめのペーパークリップを伸ばしても使用する事ができます。 ①パソコンおよびDVD-ROMドライブの電源を切ります。 ②強制イジェクトホールに針金を差し込み強く押します。 ③トレイが15㎜程度前に出るので手で更に引き出し、ディスクを取り出します。ディスクを取り出した後、トレイを押し戻してください。

原因3	DVD-ROMドライブが故障している場合があります。
対処	弊社修理係にご依頼ください。（☞ 53ページ）

DVD-ROMドライブのランプ（BUSYランプ）が点灯しない

原因１	ディスクが確実に入っていないことがあります。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ケーブルなどが確実に接続されていない場合があります。
対処	各ケーブルの接続を確認してください。

音が聞こえない

原因１	ディスクが確実に入っていない。
対処	ディスクが確実に入っていることを確認してください。

原因２	ディスクが変形/破損していたり、汚れている。
対処	変形/破損しているディスクは使用しないでください。また、汚れがある場合は汚れを取り除いてください。

原因３	音声データが入っていないディスクを入れている。
対処	音声データが入っているディスクを使用してください。

原因４	ケーブルが確実に接続されていない（アナログ再生）
対処	本製品とパソコンを市販のオーディオケーブルで接続している場合は、本製品(LINE OUT)およびパソコン(LINE IN)の接続を再度確認してください。 本製品にアンプ付きスピーカーを接続している場合は、本製品(LINE OUT)の接続を再度確認してください。

原因５	パソコンまたはOSが「デジタルオーディオ機能」に対応していない（デジタル再生）
対処	次ページをご覧の上、「デジタルオーディオ機能」に対応しているかをご確認ください。 ⇒対応していない場合は、アナログ再生でお聞きください。 （☞ 13ページのコラム） ⇒対応している場合は「デジタルオーディオ機能」の設定をしてください。



音楽CDとDVDビデオの音声について

音楽CDとDVDビデオの音声出力の方法は以下のようになります。

- ***音楽CD***

  通常はアナログのオーディオケーブルで接続します。

  「デジタルオーディオ機能」を有効にすると、音声はデータとして扱われるため、オーディオケーブルの接続は不要になります。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（デジタルオーディオ機能を有効にした場合は、アナログ信号は出力されません。また、音飛びが発生する可能性があります。）

- ***DVDビデオ***

  映像も音声もデータとして送信されるため、オーディオケーブルの接続は不要です。音声はパソコン本体のスピーカーから出力されます。（アナログ信号は出力されません。）

デジタルオーディオ機能の設定

デジタルオーディオ機能に対応しているかどうかは、次ページの方法で確認してください。デジタルオーディオ機能に対応していない場合は、アナログ再生でお聞きください。（☞ ●ページ）



●Windows Meの場合

①[マイコンピュータ]アイコンを右クリックして、[プロパティ]をクリックします。

②[デバイスマネージャ]タブをクリックし、[CD-ROM]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM GDR8081N]をダブルクリックします。

③[プロパティ]タブをクリックし、[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 98の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[マルチメディア]アイコンをダブルクリックします。

②[音楽CD]タブをクリックします。

③[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

④チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

●Windows 2000の場合

①[スタート]→[設定]→[コントロールパネル]内の[システム]アイコンをダブルクリックします。

②[ハードウェア]タブをクリックします。

③[デバイスマネージャ]ボタンをクリックします。

④[DVD/CD-ROMドライブ]をダブルクリックして表示された[HL-DT-ST DVD-ROM GDR8081N]を右クリックし、[プロパティ]をクリックします。

⑤[このCD-ROMデバイスでデジタル音楽CDを使用可能にする]という表示があることをご確認ください。

⑥チェックすることが可能な場合は、チェックをつけます。
チェックできない場合は、デジタルオーディオ機能に対応していません。

原因６	音声ボリュームが「0」に設定されている。（Winodws Me/98）
対処	①タスクバー上のスピーカアイコンをダブルクリックします。 ②[オプション]→[プロパティ]をクリックし、[表示するコントロール]で[ライン入力]にチェックを入れます。 ③[OK]ボタンをクリックし、[ライン入力]の[選択]にチェックを入れます。または、ライン入力の[ミュート]のチェックを外します。 ④ボリュームを調節します。 ⑤ウィンドウ右上の[x]ボタンをクリックし、設定ウィンドウを終了します。

原因７	ヘッドホンボリュームの音量が最小になっている場合があります。
対処	ヘッドホンボリュームの音量を上げて(右に回す)みてください。

原因８	ヘッドホン端子にプラグがしっかり接続されていない。
対処	プラグをしっかりと接続します。

原因９	ヘッドホンやスピーカーなどが故障している。
対処	他の機器で使用してみるなどして、ご使用のヘッドホンが正常か確認してください。

DVDビデオが再生できない

原因１	DVDプレーヤーがインストールされていない。
対処	本製品添付の「PowerDVD VR-X」をインストールしてください。

原因２	地域コード（リージョンコード）が２またはALL以外のディスクを使用している。
対処	本製品はリージョンコード２に設定されていますので、リージョンコード２またはALL以外のディスクは再生できません。

ヘッドホンからDVDビデオの音が聞こえない

	DVDの音声はデジタルであるため、アナログである本製品のヘッドホン端子では聞けない。
対処	デジタル音声はIDEケーブルから出力されていますので、パソコンのスピーカーでお聞きください。

DVDビデオ再生時にコマ落ちする

	USB 1.1で接続している。
対処	USB 2.0で接続してください。（本製品を弊社製USB 2.0インターフェイスが経由で接続してください。）

仕様

●DVD-ROMドライブ

インターフェイス仕様	i・CONNECT
ディスクローディング方式	トレイタイプ パワーイジェクト/手動挿入方式
データバッファサイズ	512KB
データ転送速度（最大）	8倍速DVD-ROMリード:10.8MB/秒 24倍速CD-ROMリード:3.6MB/秒
平均アクセスタイム	DVD-ROM：90ms CD-ROM ：85ms
対応フォーマット（Read Only）※	DVD-ROM、DVD-RAM(2.6GB TypeⅡ,4.7GB TypeⅡ)、 DVD-R(3.95GB,4.7GB,Write at Onceのみ)、 DVDビデオ、CD-ROM（Mode1,Mode2）、CD-ROM XA、 CD-I、Photo CDﾏﾙﾁｾｯｼｮﾝ、ビデオCD、音楽CD、 CD TEXT、音声付きCD-ROM、CD Extra、CD-R/RW
アナログライン出力	0.7Vrms（Typical、10KΩ負荷）
使用温度範囲(℃)	+5℃～35℃
使用湿度範囲(%)	20%～85%（結露なきこと）
電源	DC 5.0V 1.7A
外形寸法（突起部を除く）	140.0(W)×150.0(D)×20(H)mm
質量	約310g

※ DVD-RWはPowerDVD VR-Xで読み込み可

●USB 2.0コンバータケーブル

対応規格	i･CONNECT規格およびUSB 2.0準拠
転送方式	コントロール転送／バルク転送／インタラプト転送
転送速度	USB 2.0：480Mbps（理論値） USB 1.1： 12Mbps（理論値）
動作温度	+5～+35℃
動作湿度	20～80%（結露なきこと）
外形寸法	44(W)×56(L)×14(H)mm
ケーブル長	約100cm
質量	約80g

●i･CONNECTについて

本製品は「i･CONNECT ™ 」に対応しています。
「i･CONNECT」とは、内蔵型の各種IDE/ATAPIドライブを外付型デバイスとして幅広く活用するためにアイ・オーが考案した接続用コネクタ規格です。

IDE/ATAPIドライブは多くのパソコン本体に標準実装されているため、最新の高性能ドライブをタイムリーにローコストで安定供給できます。

また、「i･CONNECT」搭載ドライブはマルチインターフェイス対応です。
コンバータケーブルにより「USB」や「IEEE1394(FireWire, i.LINK)」ドライブ、Duo ATA PCカードでそのまま「IDE/ATAPI」ドライブとしても使用できます。



お問い合わせ先

PowerDVD VR-X

「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　　サイバーリンク株式会社

ユーザーサポートページURL	http://www.cli.co.jp/support/
E-mail	support@cli.co.jp
TEL	03-3662-8076
FAX	03-3662-8009
受付時間	10:00～13:00、14:00～17:00 月～金曜日(祝祭日を除く)

インターネット環境をお持ちでない方は、下記の必要事項をご記入、もしくはご確認いただき、サイバーリンク㈱までFAXまたはTELにてお問い合わせください。

▼必要事項

1. 記入日
2. 氏名（ユーザー登録名）
3. TEL番号
4. FAX番号
5. 住所
6. 製品名およびソフトウェアのバージョン
7. CD-Key番号（「PowerDVD VR-Xクイックガイド」内【PowerDVD VR-Xのインストール】に記載されています。）
8. お使いのＰＣ環境
   - ・OS環境（メーカー名、製品名およびバージョン）
   - ・パソコン（CPU（例：Pentium Ⅲ 500）およびメモリ容量）
   - ・ハードウェア構成（メーカー名、製品名）
   - ・DVDドライブ（例：I-O DATA製、DVDP-i8A/US2）

サイバーリンク㈱ ユーザー登録（PowerDVD VR-X用）

本製品添付の「PowerDVD VR-Xクイックガイド」をご覧になり、ユーザー登録を行ってください。

DVD-ROMドライブ

お知らせいただく事項

1. お客様の住所・氏名・郵便番号・連絡先の電話番号及びFAX番号
2. ご使用の弊社製品名。
3. ご使用のサポートソフトのバージョン。
4. ご使用のパソコン本体と周辺機器の型番。
5. ご使用のOSとアプリケーションの名称、バージョン及びメーカー名。
6. 現在の状態(「マイコンピュータにCD-ROMアイコンが表示されない」などの内容)。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/support/**
「サポートセンターお問い合わせ」内のフォームを
使用してE-mailをお送りください。

郵便

〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
住所　株式会社アイ・オー・データ機器
サポートセンター「DVDP-i8A/US2」係　宛

電話・FAX

電話番号	**本社　076-260-3688　東京　03-3254-1095**
電話受け付け時間	**9:30～19:00　月～金曜日(祝祭日を除く)**
FAX番号	**本社　076-260-3360　東京　03-3254-9055**

本製品に関するお問い合わせはサポートセンターのみで行っています。予めご了承ください。

サポートソフトのバージョンアップ

入手方法は以下の通りです。

オンライン

インターネット　**http://www.iodata.co.jp/**　→「サポート・ライブラリ」

サービス窓口からの郵送

下記の窓口までお問い合わせください。（送料及び手数料はお客様負担）

住所　〒920-8513　石川県金沢市桜田町2丁目84番地 ｱｲ･ｵｰ･ﾃﾞｰﾀ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器
「DVDP-i8A/US2」　サービス窓口　宛
電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00　月～金曜日（祝祭日を除く）

ご注意

●オンラインによるダウンロードはお客様の責任のもとで行ってください。
●添付ソフトウェアの中には、当サービス対象外のソフトウェアもあります。

修理について

修理の前に

故障かな？と思ったときは、
①本書をもう一度ご覧いただき、設定などをご確認ください。
②弊社サポートセンターへお問い合わせください。
（【サポートセンターへのお問い合わせ】をご覧ください）

明らかに故障の場合は、下記内容を参照して、本製品をお送りください。

修理について

本製品の修理をご依頼される場合は、以下の事項をご確認ください。

●内部のデータについて

・検査の際には、内部のデータはすべて消去されてしまいます。
（厳密な検査を行うためです。どうぞご了承ください。）
※データに関しては、弊社はいっさいの責任を負いかねます。
バックアップできる場合は、修理にお出しになる前にバックアップしてください。
・弊社では、データの修復は行っておりません。

●お客様が貼られたシールなどについて

修理の際に、製品ごと取り替えることがあります。
その際、表面に貼られているシールなどは失われますので、ご了承ください。

●修理金額について

・保証期間中は、無償にて修理いたします。
ただし、ハードウェア保証書に記載されている「保証規定」に該当する場合は、有償となります。
※保証期間については、ハードウェア保証書をご覧ください。
・保証期間が終了した場合は、有償にて修理いたします。
※弊社が販売終了してから一定期間が過ぎた製品は、修理ができなくなる場合があります。
・お送りいただいた後、有償修理となった場合のみ、往復はがきにて修理金額をご案内いたします。
修理するかをご検討の上、検討結果を記入してご返送ください。
（ご依頼時にFAX番号をお知らせいただければ、修理金額をFAXにて連絡させていただきます。）

修理品の依頼

本製品の修理をご依頼される場合は、以下を行ってください。

●メモに控え、お手元に置いてください

お送りいただく製品の製品名、ハードウェアシリアルNO.、お送りいただいた日時をメモに控え、お手元に置いてください。

●これらを用意してください

・必要事項を記入した本製品のハードウェア保証書（コピー不可）
　※ただし、保証期間が終了した場合は、必要ありません。
・下の内容を書いたもの
　返送先［住所/氏名/(あれば)FAX番号］,日中にご連絡できるお電話番号,
　ご使用環境（機器構成、OSなど）,故障状況（どうなったか）

●修理品を梱包してください

・上で用意した物を修理品と一緒に梱包してください。
・輸送時の破損を防ぐため、ご購入時の箱・梱包材にて梱包してください。
　※ご購入時の箱・梱包材がない場合は、厳重に梱包してください。

●修理をご依頼ください

・修理は、販売店へご依頼いただくか、下の送付先※までお送りくださいますようお願いいたします。
　※ **原則として修理品は弊社への持ち込みが前提です。送付される場合は、発送時の費用はお客様ご負担、修理後の返送費用は弊社負担とさせていただきます。**
・送付の際は、紛失等を避けるため、宅配便か書留郵便小包でお送りください。

送付先　〒920-8513 石川県金沢市桜田町2丁目84番地
アイ・オー・データ第2ビル
株式会社アイ・オー・データ機器　修理係　宛

修理品の返送

・修理品到着後、通常約１週間ほどで弊社より返送できます。
　※ただし、有償の場合や、修理内容によっては、時間がかかる場合があります。
・修理品の返送日については以下の窓口にお問い合わせください。

●サービス窓口

お問い合わせの際は、ご依頼の際にメモに控えた内容をお伝えください。

電話番号　076-260-3663
受付時間　9:30～12:00　13:00～17:00
月～金曜日（祝祭日を除く）

DVDP-i8A/US2 取扱説明書
2001.Aug.28 95507-01
発 行　株式会社アイ・オー・データ機器
〒920-8512 石川県金沢市桜田町3丁目10番地

© 2001 I-O DATA DEVICE,INC. All rights reserved.
本製品及び本書は著作権法により保護されておりますので
無断で複写、複製、転載、改変することは禁じられています。

PowerDVD™ VR-X 「PowerDVD VR-X」のお問い合わせ

●お問い合わせ先　サイバーリンク株式会社
ユーザーサポートページURL　http://www.cli.co.jp/support/
E-mail　support@cli.co.jp
TEL　03-3662-8076
FAX　03-3662-8009
受付時間　10:00～13:00、14:00～17:00
月～金曜日(祝祭日を除く)